

事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定

市町名	丹波市
-----	-----

課題の類型 1	課題の類型 2	背景・現状・課題の詳細	これまでの取組状況	左記課題の解決のために 令和7年度に実施する具体的な取組	本事業で達成する目標 (アウトカム)	目標の達成度を 測る指標	現 状 の 数 値	単 位	本 年 度 の 目 標 値	本 年 度 の 実 績 値	アウトカムの達成度に関する評価・分析 (事業における成果、課題、改善点等)	
②学校と地域の課題	03 学校支援ボランティアの確保・育成	学校運営協議会と地域学校協働活動の一体的推進を図るために、各校1名の地域学校協働活動推進員の配置について、人材や周知不足のため、計画どおり進んでいない現状がある。	地域学校協働活動推進員の未配置校へ学校訪問を行い、管理職へ人材発掘と育成を依頼した。また、令和8年度に向けて、人材確保のための事業統合計画を提案することができた。	市の関係課との連携を図りながら、地域人材を対象とした研修会を実施し、人材育成と意識の向上を図る。また、事業統合を具体化し、人材確保に努める。	学校関係者や地域住民が地域学校協働活動の意義や役割を理解するとともにし、地域と学校をつなぐ等、コーディネート役を担う推進員を育成する。	地域学校協働活動推進員の配置人数	15	人	20	16	02 本年度の目標値を下回り、取組の工夫・改善が求められる	学校関係者や地域学校協働活動推進員、地域コミュニティ活動推進員を対象にした地域別懇談会を実施し、地域学校協働活動の必要性について理解を深めることができた。また、校区ごとに今後、地域学校協働活動としての活動内容やその進め方を話し合い、今後の目指すところを確認することができた。現段階では目標値には及ばないものの、次年度、早々に配置予定の学校もあり着実に増加している。
②学校と地域の課題	03 学校支援ボランティアの確保・育成	学校運営協議会の活動が例年の踏襲になりつつあり、活動内容が学校の援助に固定化されてきている。地域が主体的に学校運営協議会に関わり、学校と地域がともに当事者意識を持てるCSにすることが課題である。	市主催のフォーラムで、市の課題に先進的に取り組んでいる学校による実践発表や意見交流会を開催する。	市内で熟議や意見交換会を積極的に実施して、地域の課題や目指す子ども像を共有するなど、先進的な取組を実施しているCSの実践発表を行う。各CSが、活動を活性化する参考にする場にする。	学校運営協議会が学校側の方針説明や学校評価で終わるのではなく、地域と学校が一体となって子どもたちを育むCS活動にするための方策を学ぶとともに、活動意欲の高揚を図る。	市フォーラム参加者対象のアンケート結果で、満足度95%以上	89	%	95	96	04 本年度の目標値を上回り、課題の解決に向けて大きな成果が見られた	CSフォーラム・連絡会において、先進的なCSの実践発表を聞く機会を設定した。母校の取組を工夫・充実させるヒントを得ることができた。また、講演会では、学校や地域の課題を把握して、「地域とともにある学校づくり」と「学校を核とした地域づくり」を目指すために、CS活動として何が重要であるか理解することができた。参加者の満足度については、ある程度高い数値を得ることができたが、時間の都合により参加者同士の情報交換の場を設定できなかった。次年度は、参加者同士の交流の場を設定する方向で考える。